



やまぶき会 小野澤 康 弘 12
樹木の遺産化百年計画！

問市内の樹木を新たに増やし保全していくためには、百年単位で将来を見据え樹木や緑を遺産として残す計画的な取組が必要と思うが、市の見解は。

答環境部長 樹木は、生活に潤いとやすらぎを与えてくれるが、本市では、開発等により減少傾向にある。

樹木を植樹し、樹林を形成しようとしても、短

期間では困難である。また、植樹可能な場所の選定など多くの課題があるため、樹木の保全や植樹には、長期的な視点を持った取組が必要である。

今後、子々孫々に樹木を残すため、百年単位で将来を見据え、樹木を遺産として残す計画的な取組を研究していきたい。

④なぐわし公園整備
④遺産としてとらえる緑



民主党片野 広 隆 13
介護認定に係る事務の改善

問介護申請から決定まで遅延件数9630件、遅延比率75%と標準処理期間を大きく逸脱し、延長通知すら未発送なのは法に反する行政手続では？

答副市長 介護保険法第27条第11項の規定に基づく延期通知の送付については、同法に合致していないことは認識している。多くの認定結果通知をお待ちしている市民の皆様

にお詫び申し上げる。今後は、早急に認定調査員の増員、事務執行の見直しを行い、早期に法に定める期間に認定結果通知を出せるよう努めていく。

④介護保険制度の諸課題



政晴会 明ヶ戸 亮 太 14
車道橋の歩行者安全対策を

問橋の拡幅等による安全対策では多くの費用と時間が必要となる為、早期の安全対策として歩道を分離する防護柵等の設置による対策は可能か？

答建設部長 橋の拡幅や架け替えには、多くの費用と時間が必要となることから、現場状況をよく確認し、歩車を分離する防護柵の設置など、比較的早期にできる安全対策

の可能性についても検討していきたいと考えている。

④文化施設の運営
④橋の安全対策
④川越市庁舎管理規則



政晴会 川口 啓 介 15
補助金支出全体の見直しを

問補助金の支出を全体的に見直すために、制度のあり方を含めた指針やガイドラインの策定が必要と考えるが、市の見解は。

答政策財政部長 補助制度は公益的な活動を支援する上で有効な手段の一つであると認識している。本市が交付する補助金には、社会状況の変化により、補助制度創設当初の目的や政策実現の手段

としての必要性などを見直しが求められる場合もある。補助金の支出を全体的に見直すには、補助金の基本的な考え方や補助制度のあり方を示す基準等の策定も有効な手段の一つと考えている。先進事例も参考にしながら今後検討していきたい。

④補助金交付事業の検証
④意見公募手続きの課題



日本共産党 今野 英 子 16
見守りネットワーク作りを

問高齢者の方への見守り活動は大変重要であり、市長がイニシアチブを發揮し、ネットワーク作りや事業化が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

答市長 超高齢社会を向かえた今日、災害時のみならず、日常生活においても、高齢者の方々が社会から孤立することなく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会

の実現が求められている。市としても、社会福祉協議会はもとより、民生委員や地域の方々、また関係事業者の協力をいただきながら、高齢者の方々を地域で見守り、支え合

いの仕組みを広げていくことは、非常に大切であると考えている。
④高齢者の見守りと健康
④高階地域の防災対策



日本共産党 池 浜 あけみ 17
これからの地域支援事業は

問介護保険制度による地域支援事業の新しい介護予防・日常生活支援総合事業について問う。

答福祉部長 地域支援事業の新しい介護予防・日常生活支援総合事業は、これまで要支援1又は2の認定を受けている方が利用している予防給付のうち、訪問介護及び通所介護を全国一律の基準ではなく、地域の実情に

じたサービスの提供ができるものである。本市では、平成28年3月に事業を開始する予定で、当初は指定事業者による訪問介護と通所介護を実施し、その後は住民主体のサービスや短期集中予防サービス等を、地域の実情を踏まえ、事業実施に向け、検討を進めていく。

④高齢者の安心の暮らしを
④郭町周辺の防災対策